

寒冷地における家畜根菜栽培上

改善すべき事項と着眼

従来の慣習だけにとらわれず、今年こそ多収穫のために栽培上もう一度次の改善事項について検討してみましょう。

一 品種の選定

(1) 貯藏性 ルタバガについては品種間に貯藏性の差はありませんが、家畜ビートでは

貯藏力大 (ハーフレッド(赤))

中 (ハーフエンド(青))

小 (エッケンドルフ)

(2) 耐病性

○ビートの褐斑病に強い品種としてはシユガーマンゴールド、マリエンリスト

○ルタバガ白腐病には全道的にはホワイフレッシュ、ウイルヘルムス(緑色)

道東では特にマゼスチック、根室ルタバガが良好。

(3) 増収性

○ビート 地力の比較的劣る場合、また

は泥炭地帯ではバーレスストリーネ、エッケンドルフ、地力のある地帯ではシユガーマンゴールド、ハーフレッド、ハーフエンド、マリエンリスト

○ルタバガ 道東北部ではワイルヘルムス(グリン)及びホワイトフレッシュ、根室地方ではマゼスチック、根室ルタバガの特によい地帯もある。なおルタバガのヒゲ根の多いのは廃葉

部多く、収穫拔取りに困難を感じます。が、根部の凹滑なものはスマーズラウンド、ウィルヘルムスがあります。

二 種子の消毒

特にビート種子消毒は発芽を良好にし立
枯防止上効果的です。(弊社では種子消
毒と発芽促進に卓効のある消毒剤アラサ
ンを種子に添えております)

三 園場の選定

(1) 土地の選定

○ビートは特に肥沃地が適当。酸性地、
排水不良地は不可。

○ルタバガ、土壤はあまり選びませんが
なるべく肥沃地。

(2) 輪作の状況

ビート、ルタバガともに四年~五年以
上の輪作が理想。

(3) 前作の関係

豆類の跡地を理想とし、玉蜀黍、麦
類、馬鈴薯の跡地も可。

(4) 土地改良

根菜類ですからなるべく耕土の深いこと
が必要。(深耕、混層耕、心土耕など)

また酸土矯正は特にビートの場合絶対必
要。客土、暗渠なども行われていれば理
想。

五 耕鋤、整地

六 施肥

整地は丁寧に行い、播種時の覆土が浅く均一に行われることが、発芽及び地蚕の被害軽減からも必要。

土地に適合した施肥ということになりま
すが一応の標準は

堆肥肥過石硫安硫加追肥尿
バルタ以上貫貫貫貫

ビートかぶ三〇〇以上七三二二〇〇

七 畦幅株間の状態

地力によって差はありますが一応ビート
では反当七一八、〇〇〇本(一・八尺×〇・
七〇・八尺)六、〇〇〇本以下では個体
は大きくなりますが糖分含量、肉質など
から避けるべきでしよう。

ルタバガでは(一・〇尺×〇・九一・〇
尺)六、〇〇〇本程度が適當でしよう。

カブは(一・五尺×一・七尺×〇・七尺)反
当一〇、〇〇〇株程度が適當。

ビート、ルタバガ共に播種は早きを利
します。播種の十日遅れは一割の減収が
常識。

八 播種期

ビート、ルタバガ共に播種は早きを利
します。播種の十日遅れは一割の減収が
常識。

一〇 収穫

適期収穫は单に収量が多いだけでなく、
貯蔵力も大となります。一応収穫適期に
達する日数は発芽後、ビート一六〇日、
ルタバガの白腐病は根部に傷をつけな
いこと。

一〇 収穫

適期収穫は单に収量が多いだけでなく、
貯蔵力も大となります。一応収穫適期に
達する日数は発芽後、ビート一六〇日、
ルタバガ一六〇日~一八〇日ですが、根部が成
熟してきますと、今まで緑色だった葉が
黄ばんで垂れ下がるようになり、この時
が収穫の適期です。

て間引きを行うことは欠株をなくする
ために必要です。

(2) 中耕除草

中耕を兼ねて除草を行
い

ますが、三回は必要でしょう。除草の
際に根部を傷めないようにし、特にル
タバガは傷から菌が入り白腐病となり
ます。また最後の除草はなるべく早く
切り上げるようにし、茎葉をいためな
いことが大切。

(3) 病害虫の防除

虫では稚苗時のビートの地蚕、生育し
てからはビート、ルタバガの夜盗虫、青
虫、かめむし、またルタバガの野虫の
害も大きいものです。発生を認めたら
直ちに防除しましょう。B·H·Cはこ
のためにも是非手許に用意しておこうよ

うにしたいものです。病害としてはビ
ートの褐斑病はボールド液撒布により
防ぎ、この被害が大きくなると、根は
肥大せず、また貯蔵力が劣る様になり、
栄養価の豊富な葉の収量も少なく非常

な損です。現在の家畜ビート品種はい
ずれも甜菜より病気には弱いですか
ら、甜菜以上に薬剤を撒布するよう

心掛けなければなりません。

ルタバガの白腐病は根部に傷をつけな
いこと。

九 管理

(1) 間引き 発芽後一ヶ月内で本葉一
四枚となつた時に二回くらいに亘つて
間引きます。間引きが遅れますと、足
長の苗となつてなかなかその後の生育
が順調に進みません。また二回に亘つ